

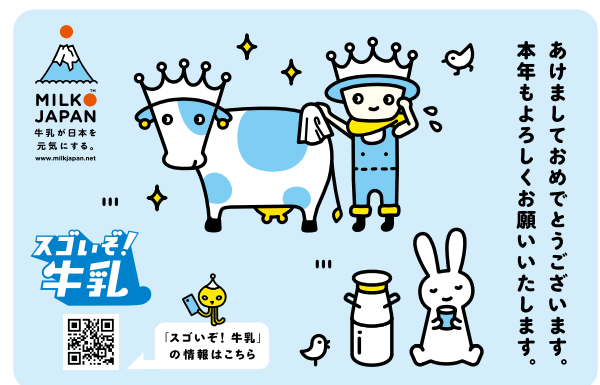
# 新年号

# 酪農とちぎ



富士山からの日の出

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 組合長挨拶
- 3 ページ 栃木県知事挨拶
- 4 ページ 青年部本部長挨拶、女性会会長挨拶
- 5 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 6 ページ 部課だより（業務部）  
理事会だより、お知らせ、市場成績



MILK JAPAN



# 新年の挨拶

酪農とちぎ農業協同組合

代表理事組合長 白井 勉



組合員ならびにご家族の皆様方におかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、弊組合の事業全般に對しまして、特段のご理解ご協力を賜りましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、我々酪農家は、安全安心な国産牛乳・乳製品の安定供給を使命とし、一日たりとも休むことの出来ない乳牛の飼養管理や地域に根差して自給飼料生産に取組み、経営の効率化を図るべく計画的に

設備投資し、酪農経営の向上に精励しております。その経営サイクルを好循環な形で維持してこられたのは、皆様方はもとより関係者の弛まぬ努力の賜であります。それら酪農業としての営みのベースには、困難な状況に直面しても、皆で危機感と一体感を共有し、力を合わせて厳しい環境変化に対処し、自助、共助、公助の力を発揮することで乗り越えてきました。まさに今、その底力が試されています。新型コロナウイルスに端を発し、ウクライナ侵攻や為替円安等により、酪農は経験したことのない飼料高騰等により非常事態ともいえる経営環境に置かれております。これ以上、酪農を再起不能に陥らせないよう、何とかして生乳需給を改善し、山積する課題をクリアしていかねばなりません。

酪農が将来を展望できる状況を作り出すためには、生乳需給の安定は不可欠であります。国産牛乳・乳製品の消費拡大を推進しながら、乳製品在庫を積み増しせずに、淘汰事業を活用しつつ生乳出荷抑制に努め、消費者に対して酪農の窮状について理解醸成を図り、生産コストに見合った乳価の早期改定を実現する必要があります。

持続可能な酪農を取り戻せるよう、酪農組合として関係団体と連携し国内酪農業の存在価値や存在意義を訴え、消費者とのコミュニケーションを工夫し、あらゆる機会を通じて情報発信してまいります。

また、酪農が直面する経営対応に時間的な猶予は無く、一個人や一組織のレベルでの対応手段は限定的であります。日本の国家として、食料安全保障の大所高所に立った政治判断のもと、酪農に対する支援の継続拡充や生乳需給調整機能の強化など、さらなる追加の救済措置の要請活動について関係団体と連携し取り組んでまいります。

組合は、第6期中期構想（令和3年度～5年度）の最終年度を迎え、「多様な酪農の成長を支え、持続可能な酪農を目指す」を基本方針に掲げ、正念場の年となります。次期構想の策定も視野に、これからも、皆様の声を拝聴し意見集約に努め、本組合の組織力を生かし酪農の窮状を打開できるよう組合運営に邁進していく所存です。

なお、令和5年4月より、組合の動向をふまえ業務の効率化と管理費の削減を図るため、宇都宮支所と県南支所の支所機能を統合し、支所・事業所体制に移行してまいります。生乳の需給ギャップは予断を許さない状況にあります。皆様の努力が報われ、生産基盤を守っていただけるよう、役員一丸となって事業推進してまいります。

今後とも、組合運営に對しましてご理解ご協力をお願いするとともに、ご家族皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ新年の挨拶いたします。

令和5年 元旦



# 新年知事あいさつ

栃木県知事 福田 富一



酪農とちぎ農業協同組合の組合員、役職員の皆様、あけましておめでとございます。

はじめに、本年は、明治6（1873）年に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ領域の栃木県が誕生してから150年の節目の年となります。皆様と共にこの記念すべき年を迎えられますることを、大変うれしく思うところであります。

また、6月には、我が国で初めてとなるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催さ

れます。この機をとらえ、栃木県の魅力・実力を広く国内外に発信し、地域経済の活性化やブランド力の向上に努めて参ります。

一方、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、引き続き、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、県民の命と健康、暮らしを守るため、必要な対策に万全を期して参ります。

さて、県農業振興計画「とちぎ農業未来創生プラン」では、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」を基本目標に、多くの若者が本県で就農し、稼げる農業が展開され、農村地域が活性化される好循環を生み出す「就農環境日本一」を目指し、各種施策を推進

しているところです。

しかし、酪農につきましましては、飼料価格が高騰するなど大変厳しい状況にありますことから、県では、緊急対策として、配合飼料・粗飼料の購入に係る負荷軽減や自給飼料の生産拡大のための支援を行って参りました。引き続き、関係団体一丸となって、飼料価格高騰対策を行って参ります。

また、次代を担う人材確保・育成につきましましては、県と関係団体で構成された酪農担い手確保推進協議会が開催する研修会や、ロボット・AI等の先端技術を備えた施設整備などにより支援してまいります。加えて、各種メディアを活用した情報発信による牛乳・乳製品の消費拡大対策等も行い、生乳生産量全国第2位の「ミルクの国とちぎ」の持続的な発展を図って参ります。

併せて、全国各地で高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生が続いていることから、家畜伝染病の発生及びまん延防止に向けた総合的な家畜衛生対策を推進して参り

ます。酪農では地方病性牛白血病（EBL）の清浄化が課題となっておりますので、組合員の皆様におかれましても、自身の経営と地域の畜産を守るため、飼養衛生管理基準の遵守徹底等、改めて適切な対応をお願いいたします。

社会情勢が大きく変化する中におきましても、時代の潮流を的確にとらえ、デジタル技術も有効に活用しながら課題解決や魅力向上を図り、未来に誇れる「新しいとちぎ」づくりに全身全霊で取り組んで参りますので、県民の皆様の一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和5年元旦



## 新年の挨拶

青年部本部長 永嶋俊太郎



新年明けましておめでとうござ  
います。皆様におかれましては、  
益々のご活躍のこととお慶び申し  
上げます。部員の皆様、組合役職  
員の皆様には青年部活動に対し、  
格段のご協力とご指導を賜り、こ  
の場をお借りして厚く御礼申し上  
げます。

昨年6月の青年部総会において  
青年部本部長に選出され、新体  
制が発足しました。部員の皆様は  
は本部事業へのご協力の程よろし  
くお願いいたします。

青年部の活動においては、新型  
コロナウイルス流行下の中で出来  
得る最大限の活動をしていこう、  
という活動方針の中で7月には3  
年ぶりとなるソフトボール大会の  
開催を予定していましたが、台風  
の接近により急遽中止せざるを得

ませんでした。1月にはポウリン  
グ大会を予定していましたが、新  
型コロナウイルスの感染者が急激  
に増加したことも踏まえ、誠に残  
念ながら12月16日に開催した三役  
会にて中止を決定いたしました。  
今後の流行状況にもよりますが、  
2月には講師を招いて、勉強会を  
予定していますので部員の皆様は  
ご協力の程よろしくお願いいた  
します。

さて、昨年の酪農情勢は危機的  
なものでした。生産コストの度重  
なる上昇、需給バランスの乱れ、  
副産物収入の減少などにより経営  
が成立しにくい状況に陥っている  
のが現状です。このような中で、  
青年部として出来ることは、勉強  
会やイベントを通してこれからの  
酪農業を担う部員同士の士気を高  
めることです。また搾乳体験など  
消費者の皆様へ、牛と触れ合い、  
酪農を理解して頂く場を提供する  
ことも重要な活動です。牛乳は単  
なる飲料ではなく、それ自体が栄  
養素に富み、チーズやバターに加  
工することで食生活を豊かにする  
『食品』であることが伝われば、牛  
乳の価値を改めて理解して頂ける  
のではと思っています。  
最後になりましたが、本誌読者  
の皆様は益々のご発展とご多幸を  
ご祈念申し上げ、新年のご挨拶と  
いたします。

## 新年の挨拶

女性会会長 興野 礼子



酪農家の皆様並びに役職員の皆  
様におかれましては、新春を健や  
かにお迎えのこととお慶び申し上  
げます。旧年中は、酪農とちぎ女  
性会活動に格別のご理解とご協力  
を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますといま  
だに感染の終息が見通せない新型  
コロナウイルス感染症やロシアの  
ウクライナへの侵攻、円安などに  
よる飼料価格や農業資材の高騰が、  
酪農経営の将来に対する不安の増  
大に拍車をかけている状況にあり  
ます。そのような状況の中、私達  
女性会は昨年12月6日に研修会を  
行ないました。80名以上の出席と  
なり当日は盛況の研修会となりま  
した。講師をお引き受けいただき  
ました関東生乳販連の菊池会長に  
は、お忙しい中ありがとうございます

ました。また、白井組合長にもご  
臨席を賜り厚くお礼申し上げます。  
講演は、経営が悪化し酪農家の  
離農が加速しているという話から  
はじまりました。また、生乳には  
「一物多価」という特殊性もあり  
同じ生乳であっても、それを原料  
にして何の製品が作られるかによっ  
て乳価が異なり、バターや脱脂粉  
乳、チーズは、安い海外からの輸  
入製品との競争が発生しているた  
め、加工品となる生乳は乳価が安  
く設定されているなど、具体的  
数字でご講演をいただきました。女  
性会の皆様には何かしら心に刻み  
込まれたのではないかと思います。  
今こそ、国の財政出動で酪農家に  
多岐にわたる補てんをしていただ  
ければ、消費者にも負担をかけず  
に酪農家を守ることが出来ると思  
いました。また、国内の食料・農  
業を守ることが防衛の要・安全保  
障なのではないかと思いました。

本年度も、私達女性会は心を強  
く持って牛乳乳製品の消費拡大に  
つなげていく活動をして行きたい  
と思います。  
最後になりますが、皆様方の一  
層のご理解とご協力を賜りますこ  
とをお願い申し上げます。ととも  
に、年頭にあたり皆様方のご健勝  
とご多幸をご祈念申し上げ、新年  
のご挨拶といたします。



# 部課だより

## 生乳受託課

令和4年11月度の組合生乳生産量は、2万486t（前年比98.9%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万4479t（前年比100.8%）、宇都宮支所2141t（同91.6%）、県南支所3866t（同96.4%）となり、出荷者数は前年同月より21戸減の332戸（内、学校1）となりました。

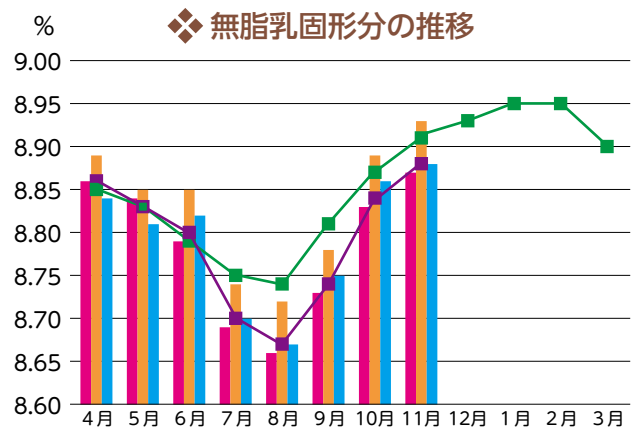
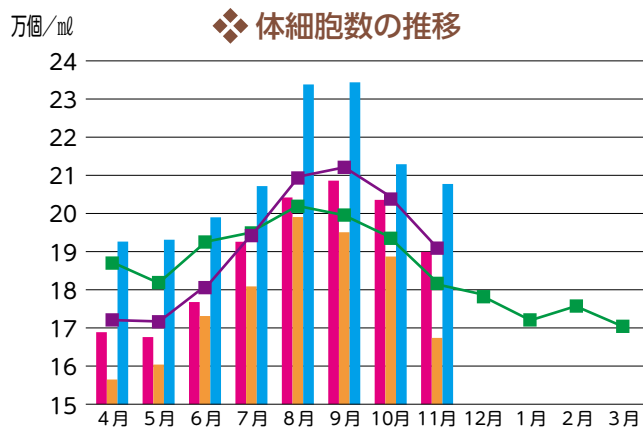
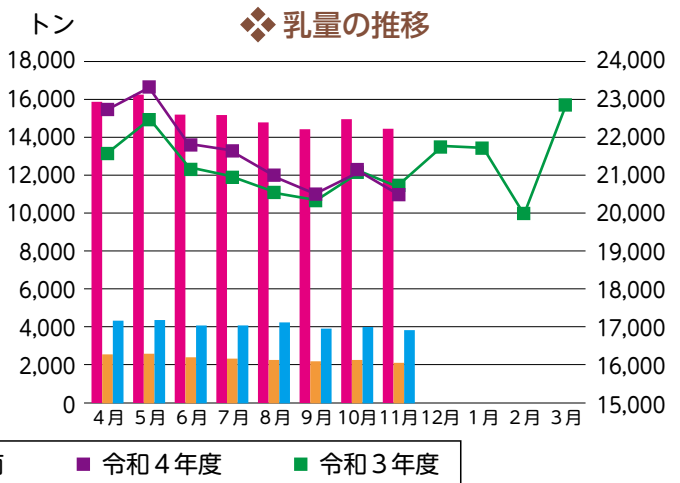
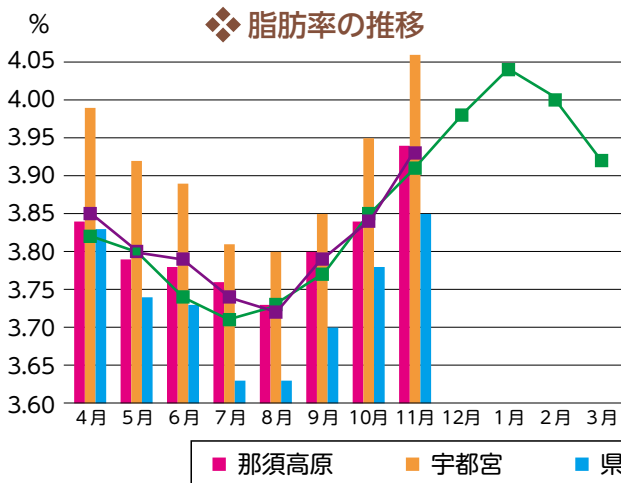
11月度の組合平均乳質は、脂肪率3.93%（前年差+0.02%）、無脂固形分率8.88%（同▲0.03%）、体細胞数19.09万（同+0.92万）と脂肪率を除き前年同月を若干下回る結果となりました。

関東生乳販連の11月の総受託乳量は8万3407t（前年比99.1%）となり、22ヶ月ぶりに前年を下回りました。用途別販売数量を見ると、乳価値上げに伴い心配された、飲用向けの減少幅は前年比99.8%と予想より少なく、加

工向けも前年比99.3%となりました。全国の生産量は96.3%と4ヶ月連続で前年を下回りました。内訳は北海道が95.6%、都府県が97.2%の前年比となっています。なお、令和4年11月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。

令和4年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

用途	11月期実績	前年同期実績	前年比	11月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	65,595,631	65,735,651	99.8	530,279,915	534,121,731	99.3
(うち学校を除く飲用)	53,795,836	53,837,708	99.9	453,464,384	456,899,607	99.2
(うち学校向け)	11,799,795	11,897,943	99.2	76,815,531	77,222,124	99.5
はっ酵乳向け	11,179,532	11,735,079	95.3	96,592,293	98,760,011	97.8
脱粉・バター等向け	5,492,041	5,531,453	99.3	64,696,636	54,976,398	117.7
生クリーム等向け	1,004,624	1,044,379	96.2	8,403,559	8,289,972	101.4
チーズ向け	135,476	95,626	141.7	964,164	752,887	128.1
総受託乳量	83,407,304	84,142,188	99.1	700,936,567	696,900,999	100.6
脱粉・バター等向け比率	6.58	6.57	-	9.23	7.89	-



# 業務部

## ●労働力・人材確保支援セミナー 開催

12月1日に、畜産会館会議室にて、労働力・人材確保支援セミナーを開催しました。午前の部は農業求人情報サイト「農業ジョブ」の活用について、午後の部は社会保険労務士から、豊富な具体的事例を交えながら、「組織」「人的資源管理」「能力開発」「労務管理」「労働関係法」と、雇用するうえで必要な事項を分かりやすく説明がありました。



# 理事会だより

## 11月度理事会（11月30日）

### 報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- (一) 10月度事業実績について
- (二) 令和4年度組合購買利用推進女性研修会の中止と代替案について
- (三) 令和4年度配合飼料等特別奨励措置（案）について
- (四) 令和5年度機構改革（案）について

- (五) ついて
- (六) 外部団体への出資及び役員候補者の推薦について
- (七) 組合と理事との契約について
- (八) 固定資産の取得について（追認）
- (九) 年末手当の支給について

## お知らせ



### 《ふるさと納税》を活用した牛乳・乳製品消費拡大活動のご案内

（一社）全国酪農協会が主催する、標記活動について、WEBサイトを通じた情報発信を10月より開始しました。下記リンクより参照のうえ、ご協力願います。



「ふるさと納税」で酪農家を応援しよう！  
返礼品に牛乳・乳製品を！！  
～飼料高騰で厳しい生産現場～

新型コロナウイルス・ウクライナ情勢の影響に対する支援

新型コロナウイルスによる牛乳・乳製品の需給緩和、ウクライナ侵襲等の影響で生産コストが高騰しており、全国の酪農経営が危機的な状況にあります。「ふるさと納税」により、自治体に寄付し、産乳過程に牛乳・乳製品を産ごことで、酪農家に対して支援することが出来ます。全国酪農協会では、会員団体等のご協力のもとウェブサイトにて情報提供しております。右記リンクより参照のうえ、ご協力願います。よろしくお願い致します。

一般社団法人 全国酪農協会

## 11月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円（税込）]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
根室	11月2日	549	428	78.0%	471	96	82	702
釧路	11月14日	545	512	93.9%	458	66	62	679
十勝	11月15日	306	281	91.8%	447	32	30	610
北見	11月16日	430	387	90.0%	410	21	20	564
十勝	11月18日	377	326	86.5%	386	7	7	582
豊富	11月24日	764	632	82.7%	483	179	144	721
合計		2,971	2,566	86.4%	443	401	345	643
前月		3,083	2,601	84.4%	449	382	336	657
前年同月		3,108	2,622	84.4%	566	281	245	760

初妊牛の今後の動向は2月下旬以降の分娩が中心となります。導入シーズンとなり注文は増加傾向ですが、年末となり初妊牛・経産牛ともに資源は豊富に出てくるものと予想され、相場は前月と比較しやや弱含みと見込まれます。今後、F1腹が増加し、雌雄選別腹の頭数が少なくなることが予想され、将来的には、乳牛頭数が減少することが危惧されます。導入を希望される方は腹条件、分娩月をご検討の上での申し込みをよろしくお願い申し上げます。

## 11月度 県内家畜市場成績 [単位：円（税込）]

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
那須	F1雄	190	188	68	225,500	8,800	113,809
	F1雌	139	138	62	165,000	5,500	78,825
	ホルズ雄	120	119	68	95,700	110	40,094

今回の初生牛相場は前号に報告した10月の平均価格と比較しますと、F1雄は6千円のプラス、F1雌は10千円のプラス、ホルズ雄は11千円のプラスとなりました。例年冬から春先にかけて価格は下降傾向を取ること多いですが、今後も相場は横這いからやや弱含みで推移すると見込まれます。

